

N3 Vocabulary List. Sentence Patterns

〈語彙(Vocabulary)〉

元気(げんき)

意味: healthy, fine, in good spirits

英訳: healthy, well, energetic

例文:今日は元気ですか？

How are you today? Are you feeling well?

番組(ばんぐみ)

意味: program (radio, TV)

英訳: program

例文:今夜の番組は面白いですよ。

Tonight's program is interesting.

卒業式(そつぎょうしき)

意味: graduation ceremony

英訳: graduation ceremony

例文:今日は卒業式です。

Today is the graduation ceremony.

入学式(にゅうがくしき)

意味: entrance ceremony (for new students)

英訳: entrance ceremony

例文:4月には入学式があります。

In April, there is an entrance ceremony.

入社式(にゅうしゃしき)

意味: company entrance ceremony

英訳: company entrance ceremony

例文:入社式は会社の重要なイベントです。

The company entrance ceremony is an important event.

新入生(しんにゅうせい)

意味: new student (freshman)

英訳: new student

例文:新入生のためにオリエンテーションがあります。

There is an orientation for new students.

新入社員(しんにゅうしゃいん)

意味: new employee

英訳: new employee

例文:新入社員がたくさん入社しました。

Many new employees have joined the company.

保護者(ほごしゃ)

意味: guardian, parent

英訳: guardian, parent

例文:保護者は入学式に出席します。

Parents/guardians attend the entrance ceremony.

就職活動(しゅうしょくかつどう)

意味: job hunting

英訳: job hunting

例文:私は今、就職活動をしています。

I am currently job hunting.

同期(どうき)

意味: person who started at the same time (at school or work)

英訳: colleagues who started at the same time

例文:彼は私の同期です。

He is my colleague who started at the same time.

〈文型(Grammar Patterns)〉

～がある

意味: There is/are...

英訳: There is/are...

例文:入学式がある。

There is an entrance ceremony.

～が～になる

意味: To become...

英訳: To become...

例文:4月になると新入生が入学します。

When it becomes April, new students enter the school.

～ことがある

意味: To have the experience of...

英訳: To have the experience of...

例文:昔、入学式に出席したことがあります。

I have attended an entrance ceremony in the past.

～ために

意味: In order to, for the sake of

英訳: In order to, for the sake of

例文:式に出席するために、仕事を休みました。

I took the day off work in order to attend the ceremony.

〜と(言う)

意味: (to say) that...

英訳: (to say) that...

例文:私の友達は「日本の会社は学校みたいだ」と言っていました。

My friend said that Japanese companies are like schools.

〜ように

意味: So that, in order to

英訳: So that, in order to

例文:みんながわかるように説明します。

I will explain it so that everyone can understand.

〈英訳とラジオの内容に基づく例文〉

・日本の学校と会社は4月に新しいスタートを切ります。

英訳: Japanese schools and companies start fresh in April.

例文:日本の学校は4月始まりです。

Japanese schools start in April.

・4月は新しい生活の始まりの時期です。

英訳: April is the time for the beginning of a new life.

例文:4月は多くの人が新しい学校や会社に入る時期です。

April is the time when many people start at new schools or companies.

・新入社員は皆、同じ時期に入社します。

英訳: All new employees join the company at the same time.

例文:4月に入社式があり、同期の社員と一緒に入社します。

In April, there is the company entrance ceremony, and employees join together as同期.

・入学式や入社式はとても重要なイベントです。

英訳: The entrance ceremony and company entrance ceremony are very important events.

例文:入学式は新入生にとって特別な日です。

The entrance ceremony is a special day for new students.

〈スクリプト〉

◆ オープニング :番組紹介 & BGM(1分)

□ 番組紹介 & ゲスト紹介

M: こんにちは、みなさん！！お元気ですか。

「Cotoラジオ」、本日も始めました！！

パーソナリティの私(わたくし)金城と、及川先生でお届けしてまいります。

及川先生、よろしくお願いいたします。

A: はい、どうぞよろしくお願いいたします。

・コーナー1: 本日のテーマ&スモールトーク(●分)

M: いや～、早いものでもう4月になりますね。桜も咲いて、いよいよ春本番ですね。

A: 本当ですね。私は今年がもう「4分(よんぶん)の1(いち)」終わったなんて信じられません。時間が経つのは早いですね。

M: そうですね。ところで、4月と言えば、日本では新生活の始まりの月ですね。

A: はい。3月は卒業式があつて「別れの季節」でしたが、4月は入学式や入社式があつて、たくさんの新しい人と会う「出会いの季節」ですね。

M: ええ...という事で本日のテーマは...

M: 「季節の日本語—入学式・入社式・新入社員」です。

♪ <効果音>

・コーナー2: 日本のスクールイヤー、ファイナンシャルイヤー(●分)

M: 日本で春が「別れと出会いの季節」になるのはなぜか、まずはこのことから話したいと思います。

日本のスクールイヤーは「4月始まり・3月終わり」で、そしてファイナンシャルイヤーも日本の多くの会社で「4月始まり・3月終わり」なんです。

ですから、日本は4月に学校では「入学式」、会社では「入社式」をします。

A: でも金城先生、私たちにとって当たり前のこのセレモニー、私の外国人の友だちに話したらかなり驚いていました。例えば、アメリカの大学は日本と違って学期が終わるごとに卒業式があつたり、大学によって学期の終了月が違うんだそうです。だから「新卒者」(new graduate)が入社するタイミングもみんな同じではないと言っていました。

M: そうなんですか。では今日のラジオでは、この日本独特の春のセレモニーについて順に紹介しましょう。

A: はい！

・コーナー3: 日本の入学式・新入生って？(●分)

M: さて、ではまず「入学式」についてお話ししましょう。先月配信の「春の日本語」で紹介したように、3月の「卒業式」で卒業した学生は、4月になると次の学校に入学します。このセレモニーが「入学式」です。卒業式もそうですが、式にはほとんどの場合、学生とその保護者が一緒に出席します。

A: 聞いた話によると、最近では仕事をしているお母さんが増えましたし、一つの家庭の子どもの数が昔に比べて少ないので、お父さん・お母さんが一緒に出席することが多いんだそうです。式に出席するために仕事をわざわざ休まなくていいように、土曜日に「入学式」をすることが多いそうですよ。

M: そうなんですか。そう言えば、ニュースで見たことがありますが、最近日本では大学の入学式にも保護者が出席することがあるみたいですね。僕の時とは全く違っていて驚きました。

A: ええ、私の時は母と一緒に出席しましたよ。大学では卒業式も入学式も、女子学生のほうが、男子学生より保護者の出席率が高い気がします。

M: 言われてみればそんな気がしますね。そして入学式で新しく学校に入って来た学生のことを小学校、中学校、高校、大学、どの学校でも「新入生」と言います。

A: 「新入生」に対して前の年から学校にいる学生のことを「在校生」と言いますね。

ところで金城先生、入学式の思い出は何かありますか。

M: あります。僕は小学校の入学式の時、学校の門の前で、「入学式」と大きく書かれた看板の前でランドセルを背負って写真を撮ったことが思い出に残っています。及川先生は？

A: 私は入学式の後、クラス全員で校庭(schoolyard)にある桜の木の下で集合写真を撮ったのがとても思い出に残っています。

M: 素敵な思い出ですね。いまは桜の咲く時期が3月下旬になってしまったので、入学式までに桜が散ってしまい、桜の花と一緒に撮れないことが多いそうですよ。

A: そうなんですか。それは少し残念ですね。

・コーナー4: 日本のお入社式・新入社員って？(●分)

M: では次に「入社式」と「新入社員」についてお話しします。今日のラジオのイントロで話が出ましたが、同じタイミングで同じ年齢の人たちが何人も一緒に入社する、というのは日本独特のものなんですよ。

A: そうみたいです。そして何より、「入社式」というセレモニーをするのが驚きなんだそうです。さらに同じ年に入社した人たちを日本語では「同期」と言いますが、英語には「同僚」を表す言葉「Colleague」や「Coworker」はあっても、同じ年に学校を卒業して同じ年に入社する人たちを表す言葉が無いので、「日本の会社はまるで学校みたい」と友だちが言っていました。

M: そう思うのも無理はないかもしれないですね。確かに4月の通勤電車はまるで「学校の制服」を着ているかのような「紺のスーツ姿」の「新入社員」＝「新しく会社に入社した社員」がたくさん乗っていますよね。

A: はい、私も4月になると必ず電車で見ます。あー、新入社員だな...と一目で分かります。違う会社の人たちなのに何故かみんな「紺のスーツ」なのはとても不思議ですよ。

M: 本当ですね。何でなのでしょうね。話は少しそれますが、「就職活動(仕事をもらうための活動)」をしている学生も同じように皆、「紺のスーツ」を着ていますね。これもまた不思議な光景ですね。

A: そしてさらに驚いたことに、最近は就職活動時期の「会社説明会」や「入社式」に保護者が出席することがあるそうですよ。テレビで見てとても驚きました。

M: ええー、そうなんですか。子どもが働く会社を決めるのに親が出てきたり、子どもが働く会社のセレモニーに親が出席するなんて、僕が学生だった頃には考えられなかったことです。

■エンディングトーク: 出演の感謝 & 締め言葉(1分)

M: それでは、今日のテーマ「季節の日本語—入学式・入社式・新入社員」は以上となります。これをお聞きの皆さん、いかがでしたでしょうか。及川先生は、どうでしたか。

A: はい。いままで当たり前だと思っていた日本の4月の風景が、実は日本独特のものだったことが分かって、とてもビックリしました！

M: そうですね。僕は最近の日本の傾向も分かって、時代とともに季節の風景も変わるんだなあ...と思いました。

このラジオ番組では今年は毎月「季節の日本語」をご紹介していきたいと思います。皆さんがもっと日本のことを知って、もっと日本のことを好きになってくれたらいいな、と思っています。最後まで聴いていただきありがとうございます。それではまたお会いしましょう。次回もどうぞお楽しみに！及川先生ありがとうございました！！

A: ありがとうございました！！